

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

綾瀬市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

神奈川県綾瀬市

3 地域再生計画の区域

神奈川県綾瀬市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、昭和 40 年代を通じて急速に増加したが、本市が令和 2 年に作成した綾瀬市総合計画 2030 の推計によると、令和 2 年の 84,462 人をピークに減少に転じ、令和 22 年までの 20 年間で 5,000 人近くが減少し、76,695 人になると見込まれる。

年齢 3 区分別人口比について、年少人口（0～14 歳）は、1960 年以降増加が続き、1980 年に 20,184 人でピークを迎えた。1975 年には総人口に占める割合が 31.3%と、約 3 人に 1 人が年少人口であったが、2010 年には 14.4%（約 7 人に 1 人）まで低下している。生産年齢人口（15～64 歳）は 1960 年以降増加を続け、1995 年に 61,817 人でピークを迎えた後、減少傾向にある。総人口に占める割合は、1985 年以降年少人口比率の低下に伴い上昇し、1995 年に 76.6%と最大となった。その後は老年人口の増加と相まって、生産年齢人口の割合が低下する傾向にあり、2010 年には 64.8%となっている。老年人口（65 歳以上）は緩やかな増加が続いていたが、1995 年以降増加傾向が強まり、2010 年には 17,238 人となっている。総人口に占める構成比（高齢化率）は、1970 年から 1985 年にかけては 5%未満であったが、1990 年以降上昇が続き、2010 年には 20.8%となった。令和 12 年には生産年齢人口比率は 59.8%、年少人口比率は 11.1%に低下する一方、老年人口比率は 29.1%にまで上昇するものと推計されており、少子高齢化が続くことが見込まれている。特に 75 歳以上の人口比率は、19.3%となり、65 歳以上

の高齢者の3人に2人、総人口の5人に1人が75歳以上となる。

自然動態について、自然増減は出生数が最も多かった1974年の963人をピークに、それ以来右下がりとなっている。近年では出生数が横ばいもしくは微減であるのに対し、死亡数が増加しているため、自然増は減少を続けており、2015年以降減少局面に転じ、2020年は自然減278人と、1965年以降では最少となった。なお、本市の合計特殊出生率は、1999～2001年の間は県全体と同等もしくは、やや低い水準にあったが、2002年以降は県全体よりも高い水準となっている。2008年以降は1.3～1.4台で推移しており、特に2010年には1.48と高い値となった。直近3年間（2016～2018年）は1.30程度で推移しており、2018年は1.36となっている。

社会動態について、1970～1975年には3,500～5,000人程度の規模で社会増となっていたが、1976年には社会増が1,979人となり、その後1984年まで右下がりでも推移している。1985年から1987年にかけては社会増が大きくなったが、その後は縮小する傾向がみられ、1994～2000年の間は社会減となった。2000年以降は転入数と転出数が同程度である状態が続いていたが、2018年以降、外国人市民の急激な増加により、2019年は社会増432人となっている。一方、直近の2020年については、新型コロナウイルスの影響により外国人市民の流入が止まり、社会減133人となっている。

こうした人口減少、少子高齢化の進行を要因として、地域経済の停滞や地域コミュニティの縮小・希薄化、また、本市の基幹産業である農・商・工業の深刻な担い手、後継者不足といった様々な課題が生じており、このままでは、地域衰退の悪循環に陥ることが想定される。

さらに本市では、外国人市民の人口もベトナム人などを中心に増加する傾向にあり、平成30年では市民の4%超が外国籍となっている。そのため、多様なルーツを持った市民が互いの文化的な違いを認め、尊重し合う多文化共生のまちづくりも進めていくことが必要となっている。

こうした課題の解消を図るため、市の魅力を育むとともに、支え合いによる地域福祉の実現や地域の活性化を促進し、次世代に引き継げるまちづくりを進めることが重要であることから、本計画において「育てる」「稼ぐ」「支える」の3つの観点による基本目標を設定し、自立性などを有した持続性の高いまちづくり

につなげていく。

基本目標1 育てる

文化財、公園などの地域資源の有効活用、魅力向上や市民活動の活性化、地域の担い手づくりなど、次世代の綾瀬を育てる視点でのまちづくりを進める。

また、幼児教育の推進や多文化共生のまちづくりなどを通じて、人と人とのつながりや地域への愛着、魅力を育み、子育ての場として選ばれ、いつまでも住み続けてもらえるまちづくりを目指す。

基本目標2 稼ぐ

農・商・工の産業振興を進めるとともに、観光による交流人口増、市の認知度向上に資する取り組みを進め、積極的な「稼ぐ」視点での地域経済の活性化を図る。

また、市のにぎわいの拠点となる道の駅の整備や中心市街地のリニューアルを通じて、市民同士や来訪者との出会いといった交流機会を生み出すまちづくりを進める。

基本目標3 支える

支え合いによる大規模自然災害への備えの充実や、鉄道駅が無いという本市の特性を踏まえた移動手段の充実など、安全で快適な暮らしを支える基盤を形成する。

また、誰もが健康で充実した生活を送ることができる生活環境づくりや、さまざまな形で活躍できる機会や場の創出を進めるとともに、そうした活躍の舞台となる公共施設の再編などを進めることで、市民の暮らしの質の向上を図る。

【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	【笑顔あふれる親子が育つ まちプロジェクト】 非認知能力向上に関する講	4回	8回	基本目標1 (育てる)

	座の実施数（年間）			
	【笑顔あふれる親子が育つまちプロジェクト】 非認知能力向上の方法と効果を知り、自発的に取り組みを実践する家庭（累計）	67世帯	335世帯	
イ	【外国人市民が活躍する多文化共生のまちづくりプロジェクト】 多文化共生研修を受講した職員数（累計）	0人	75人	
	日本語学習支援により言葉の壁の解消が進んだ外国人市民数（累計）	3,084人	3,500人	
ウ	【未来を支える地域コミュニティの仕組みづくりプロジェクト】 市民活動センターあやせ利用者数（年間）	9,717人	11,500人	
	【未来を支える地域コミュニティの仕組みづくりプロジェクト】 市民活動センターあやせ利用登録団体数（累計）	148団体	165団体	
エ	【特色ある公園活用プロジェクト】 特色、特長を生かした公園整備数（累計）	0カ所	4カ所	
	【特色ある公園活用プロジェクト】	0カ所	5カ所	

	<p>【プロジェクト】</p> <p>魅力ある公園づくり事業実施公園数（累計）</p>			
オ	<p>【目久尻川流域の歴史文化形成プロジェクト】</p> <p>目久尻川流域の寺社等団体の歴史文化ゾーン構想構成数（累計）</p>	0カ所	10カ所	基本目標2 (稼ぐ)
	<p>【目久尻川流域の歴史文化形成プロジェクト】</p> <p>目久尻川流域の寺社等団体による歴史文化ゾーン関連自主事業実施数（累計）</p>	0件	3件	
カ	<p>【道の駅から始まる綾瀬市活性化プロジェクト】</p> <p>道の駅来訪者数（年間）</p>	0人	56万人	
	<p>【道の駅から始まる綾瀬市活性化プロジェクト】</p> <p>道の駅施設（直売所、飲食施設等）の売上額（年間）</p>	0円	3億4千万円	
キ	<p>【あやせ工場プロジェクト】</p> <p>支援制度の活用によりAI・IoT化や産業用ロボットなどを導入し、自動化に取り組む企業数（累計）</p>	0社	20社	
	<p>【あやせ工場プロジェクト】</p> <p>支援制度の活用により市内企業（製造業）が一般消費者向けに開発する新商品数（累</p>	4商品	20商品	

	計)			
ク	【あやせ農場プロジェクト】 地場農産物の魅力の発信（出荷情報の発信・映像放映誘致）（年間）	15回	20回	
	【あやせ農場プロジェクト】 新規就農者数（累計）	1人	5人	
ケ	【「ロケのまち あやせ」ならではの観光プロジェクト】 観光事業による来訪者数（年間）	42,000人	47,000人	
	【「ロケのまち あやせ」ならではの観光プロジェクト】 観光事業による市内消費額	15,000千円	40,000千円	
コ	【中心市街地魅力UPリニューアルプロジェクト】 市民文化センターエリア等を一体的に捉えた民間商業施設の誘致決定数	0件	1件	
サ	【アクティブ・シニア応援プロジェクト】 アクティブ・シニア応援窓口でのマッチング件数（年間）	380件	400件	基本目標3 (支える)
	【アクティブ・シニア応援プロジェクト】 後期高齢者の介護認定率	24.59%	27.59%	
シ	【あやせ流健康習慣定着プロジェクト】 「健康的な食事・食環境」認	0店舗	9店舗	

	証制度活用（新規認証及び継続）店舗数（累計）			
	【あやせ流健康習慣定着プロジェクト】 成人期の1日30分以上、週2～3回、3か月以上運動している人の割合	21.7%	31.7%	
ス	【大規模自然災害対策プロジェクト】 総合防災訓練実施回数（年間）	1回	1回	
	【大規模自然災害対策プロジェクト】 総合防災訓練参加者数（累計）	1,272名	5,088名	
セ	【誰もが便利な移動手段強化プロジェクト】 コミュニティバスのルート見直し回数（累計）	0回	1回	
	【誰もが便利な移動手段強化プロジェクト】 コミュニティバスの利用者数（年間）	180,348人	135,000人	
ソ	【次世代につなげる公共施設改革プロジェクト】 地域施設の複合化事業の実施（累計）	0地区	1地区	
	【次世代につなげる公共施設改革プロジェクト】	0㎡	175㎡	

	地域施設の複合化事業の実施による施設総量の削減面積（累計）			
--	-------------------------------	--	--	--

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

綾瀬市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 笑顔あふれる親子が育つまちプロジェクト
- イ 外国人市民が活躍する多文化共生のまちづくりプロジェクト
- ウ 未来を支える地域コミュニティの仕組みづくりプロジェクト
- エ 特色ある公園活用プロジェクト
- オ 目久尻川流域の歴史文化形成プロジェクト
- カ 道の駅から始まる綾瀬市活性化プロジェクト
- キ あやせ工場プロジェクト
- ク あやせ農場プロジェクト
- ケ 「ロケのまち あやせ」ならでは観光プロジェクト
- コ 中心市街地魅力UPリニューアルプロジェクト
- サ アクティブ・シニア応援プロジェクト
- シ あやせ流健康習慣定着プロジェクト
- ス 大規模自然災害対策プロジェクト
- セ 誰もが便利な移動手段強化プロジェクト
- ソ 次世代につなげる公共施設改革プロジェクト

② 事業の内容

- ア 笑顔あふれる親子が育つまちプロジェクト

子育て環境の向上や、地域の子育てネットワーク形成に向けた事業。また、非認知能力の向上支援に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・親子や地域の交流の場づくり
- ・地域の子育て支援団体の育成支援
- ・コミュニケーション力養成講座
- ・非認知能力を育むための保育士研修
- ・家庭で実践できる非認知能力向上の仕組みづくり 等

イ 外国人市民が活躍する多文化共生のまちづくりプロジェクト

外国人市民への行政サービスの充実に向けた事業、多文化共生の促進に向けた事業。また、外国人市民等の活躍の支援に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・多言語 I C T ツールの活用推進
- ・防災、医療情報の多言語化
- ・日本語等の学習支援の充実
- ・外国人市民等を対象とした創業・経営支援及び、さまざまな国の料理店の創出促進
- ・国際色豊かなイベントの開催支援 等

ウ 未来を支える地域コミュニティの仕組みづくりプロジェクト

自治（会）機能の強化・充実に向けた事業、市民活動団体等の一層の活性化に向けた事業。また、多様な市民活動の仕組みづくりに向けた事業。

【具体的な施策】

- ・自治会、市民活動等の担い手の育成・発掘支援
- ・共創の場による活動の立ち上げ、継続への支援
- ・市民活動センターを拠点とした新たなネットワーク・交流促進の仕組みづくり
- ・民間空きスペース等とのマッチングによる活動の場づくりへの支援
- ・アクティブ・シニア応援窓口、コミュニティ活動のコーディネーター等との連携体制づくり 等

エ 特色ある公園活用プロジェクト

人を引き寄せる魅力ある公園づくりに向けた事業。また、それぞれの特長を生かした公園づくりに向けた事業。

【具体的な施策】

- ・ 光綾公園、蟹ヶ谷公園、城山公園の特色を生かした魅力ある公園づくり
- ・ 公園内カフェ、キッチンカー等の誘致
- ・ マルシェ、パフォーマンス等のイベントの開催促進
- ・ コミュニティづくりや交流の場づくりの支援
- ・ 地域・市民等が公園の維持・活用に参加できる仕組みづくり 等

オ 目久尻川流域の歴史文化形成プロジェクト

地域住民が誇ることのできる郷土づくりに向けた事業。また、あやせ目久尻川歴史文化ゾーンの整備・展開に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・ 流域の歴史文化資源の掘り起こしと意識創生
- ・ 歴史文化資源と他の地域資源を結ぶ仕組みづくりと魅力の発信
- ・ 地域住民等の参加によるあやせ目久尻川歴史文化ゾーンの整備
- ・ 周辺の特徴ある公園の整備・連携と文化財等とのネットワーク化
- ・ サイクリングロードの再整備・活用、回遊性の向上 等

カ 道の駅から始まる綾瀬市活性化プロジェクト

魅力的な道の駅の整備に向けた事業。また、道の駅を拠点とした地域振興の仕組みづくりに向けた事業。

【具体的な施策】

- ・ 魅力的な直売所、地場産レストラン等の設置
- ・ 地場農畜産物による食のイベント等の開催
- ・ リピーターや常連客獲得に向けた仕組みづくり
- ・ 道の駅を拠点とした情報発信やロケツアーリズム等の観光推進の仕組みづくり
- ・ 特産品等の開発 等

キ あやせ工場プロジェクト

技術力の向上に向けた支援に係る事業、「ものづくりのまち綾瀬」のブランド化促進に向けた事業。また、担い手づくりへの支援に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・ I o T化やロボットの導入等の技術革新、成長産業への参入に対する支援
- ・ 工業データベース活用等によるビジネスマッチングの促進
- ・ オープンファクトリー等を通じたものづくりへの理解の促進
- ・ 事業承継、技能継承への支援
- ・ 海外人材との交流支援 等

ク あやせ農場プロジェクト

稼ぐ農業の推進に向けた事業。また、農業への新規参入の支援に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・ 市内外への販路の確立と拡大
- ・ 道の駅や直販所等を拠点とした「農」の魅力向上、情報発信
- ・ 「あやせ農場」による、高品質な農畜産物の生産地としての積極的なPR
- ・ ブランド化・6次産業化への支援
- ・ 就農への支援強化 等

ケ 「ロケのまち あやせ」ならでは観光プロジェクト

ロケツーリズムの推進に向けた事業、市内資源の観光活用に向けた事業。また、魅力ある商店や飲食店づくりと観光連携に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・ ロケーションサービスの強化（ロケ誘致、受入・連携体制強化等）
- ・ ロケツーリズムによる誘客促進、リピーターづくりの強化
- ・ 広域連携、市内観光資源を活用したツーリズム事業の推進
- ・ 市内商工業者等との連携による観光集客イベントの開催
- ・ 魅力ある商店や飲食店づくりへの支援 等

コ 中心市街地魅力UPリニューアルプロジェクト

中心市街地への魅力ある商業施設の誘致に向けた事業。また、中心市街地の利便性の向上に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・ 中心市街地に出店する商業施設への支援
- ・ 市民文化センターエリアにおける、魅力向上につながる民間活用
- ・ 商業施設と公共施設の連携の仕組みづくり

- ・ 中心市街地の活性化を意識した公共施設の活用
- ・ 中心市街地の回遊性の向上 等

サ アクティブ・シニア応援プロジェクト

元気高齢者の就労希望の実現に向けた事業。また、元気高齢者の地域等での活躍の場の創出に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・ 応援窓口による就労支援
- ・ アウトリーチ等による現役世代や無関心層へのアプローチの拡充
- ・ 元気高齢者に係る研究、要因分析に向けた大学連携
- ・ アクティブ・シニア応援窓口による多様で自発的な社会参加の促進
- ・ アクティブ・シニア応援窓口の多様な世代の交流の場としての活用 等

シ あやせ流健康習慣定着プロジェクト

健康的な食習慣の定着化に向けた事業。また、健康的な行動習慣及び運動の定着化に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・ 「健康的な食事・食環境」定着の機会創出（ベジファーストの推進、イベント開催、メニュー開発、発信拠点づくり等）
- ・ 内臓脂肪型肥満や糖尿病予防への取り組み
- ・ ナッジ効果を応用した健康的な行動習慣の普及
- ・ 健康状態や習慣の見える化による、健康意識促進
- ・ 働き盛り世代、無関心層への運動習慣の普及・定着 等

ス 大規模自然災害対策プロジェクト

地域の防災・減災力の向上に向けた事業。また、復旧・復興対策の充実に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・ さまざまな機会を捉えた市民等の防災意識啓発、地域防災の担い手育成
- ・ 防災訓練・講演会等の開催や小・中学生を対象とした防災教育の推進
- ・ 避難行動要支援者・外国人市民等への対応強化
- ・ 避難所、防災倉庫、備蓄等の充実
- ・ 支援者と支援先のマッチングの仕組みづくり 等

セ 誰もが便利な移動手段強化プロジェクト

公共交通の利便性向上に向けた事業、複合的な交通手段の展開に向けた事業。
また、地域における移動手段の充実に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・コミュニティバス全ルート of 再検証、利便性向上に向けた検討
- ・道路ネットワークの構築、道路交通環境の向上
- ・公共交通乗換拠点を結節点とした交通ネットワークの構築
- ・パーク&バスライドの利用促進
- ・住民参加型移動支援や福祉有償運送等を行う人材の育成や組織への側面的支援 等

ソ 次世代につなげる公共施設大改革プロジェクト

公共施設の再編と質の向上に向けた事業。また、公共施設マネジメントの促進に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・アクションプラン対象施設の整備及び利便性等の向上に向けた仕組みづくり
- ・地域施設におけるコミュニティ形成の場としての活用体制づくり
- ・小規模校化に対応した学習環境の質の向上に向けた整備
- ・公共施設マネジメント基本方針に基づいた施設再編の実施・進行管理
- ・公共施設マネジメント推進のための財源確保の取り組み 等

※なお、詳細は総合戦略（綾瀬市総合計画 2030）のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月に、有識者を含めた附属機関による効果検証を行い、翌年度以降の取り組みに対する意見聴取を行う。検証後は速やかに綾瀬市公式WEB

サイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2021年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当無し

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当無し

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで